

取扱説明書

KE-P117S

体位変換器

バナナフィット SF (スモールフロー) タイプ

7F13081500A0



まえがき

このたびは、**体位変換器 バナナフィット SF (スモールフロー) タイプ** (以下、クッション) をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この「取扱説明書」には、**クッション**を安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

- クッションをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- クッションを使用する方ばかりでなく、付き添いの方や介護する方もこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」は、お読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除きこの「取扱説明書」では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。

おことわり

本文中に記載の名称を以下のように略しております。

- ベッド用グリップ (スイングアーム介助バー/サイドグリップ) → ベッド用グリップ

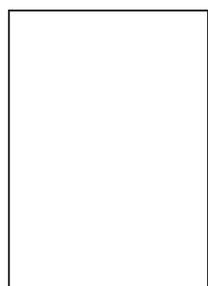
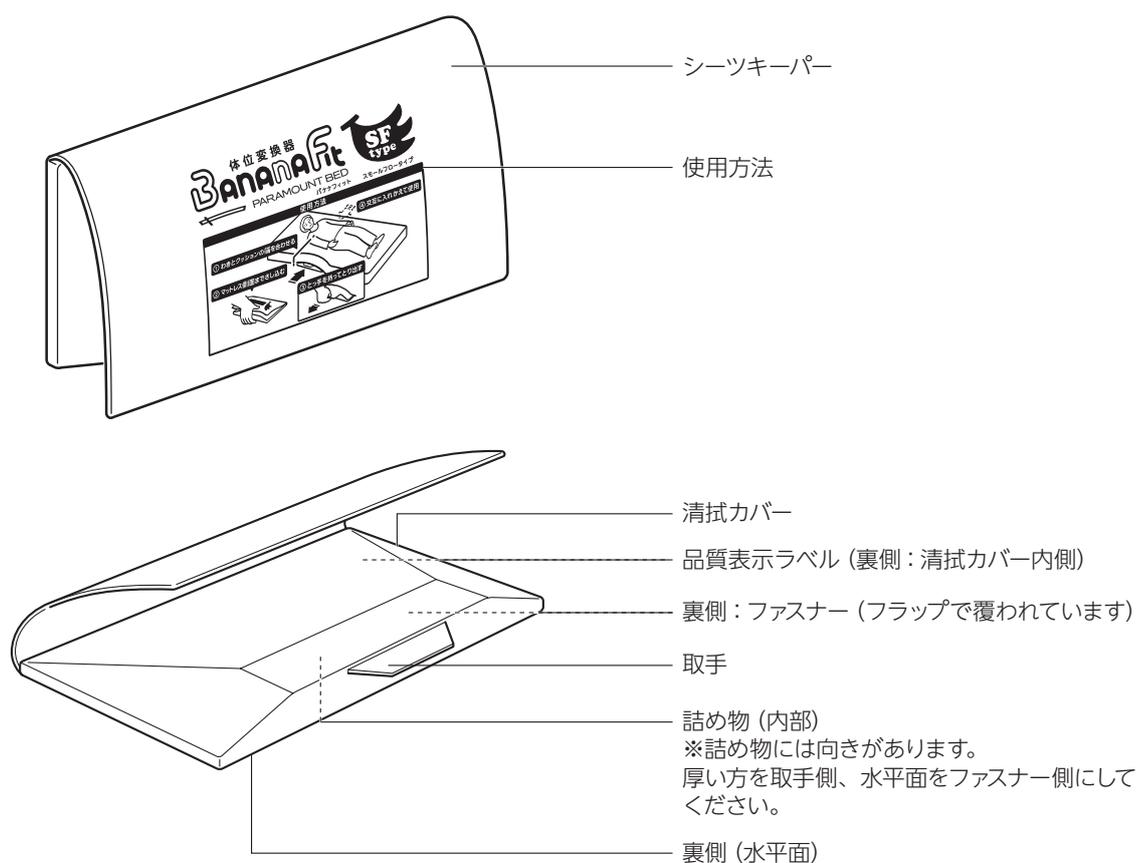
使用目的／特長

■クッションはマットレスとベッドの間に挿入し、小さな体位変換をする目的で使用します。

クッションには次のような特長があります。

- シーツのみだれを軽減しながらクッションを引き出すためのシーツキーパーがあります。
- 清拭カバーは次亜塩素酸ナトリウム 1.0% での清拭と洗濯機で洗濯ができます。

各部の名称と部品の確認



取扱説明書 (本書) × 1

安全に使用するための注意事項

ここでは、弊社製ベッドでクッションを使用した場合の主な注意事項を記載しています。ご使用にあたっては、医師・看護師・理学療法士などの専門家、もしくはお買い上げの販売店にご相談いただき、クッションを正しく使用してください。



けい こく
警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷（骨折・圧迫・麻痺^{まひ}など）を負う可能性が想定される内容を示しています。

■身体能力の衰えた方にクッションを使用する場合は特に注意してください

- 予期せぬベッドからの転落・滑り落ちなどのリスクが高くなるおそれがあります。

■クッションを使用している際は、ベッドからの転落に注意してください

- けがをするおそれがあります。
- 使用者の状態により、ベッドからの転落などのおそれがある場合は、予防のためにサイドレールやベッド用グリップの併用をお勧めします。ただし、併用した場合でも転落するおそれがありますので十分注意してください。特に姿勢が不安定な状態での保持やサイドレールの有効高さが相対的に低くなるような状況では使用しないでください。

■身体の一部がすき間に入った状態でクッションを取扱わないでください

- すき間にはさまれて、けがをするおそれがあります。

■チューブ（ドレーン）などのはさまれに注意してください

- 体位変換や姿勢保持などをする際に、クッションでチューブなどを押さえ込んでしまったり、クッションとベッドやサイドレール・マットレスのすき間にチューブなどがはさまれたりしないように注意してください。チューブなどが抜けたり、つぶれたりするおそれがあります。

■乳幼児には使用しないでください

- クッションとマットレスなどのすき間にはさまれてけがをしたり、圧迫されて窒息したりするおそれがあります。

■ベッドや車いすなどに乗り降りする際は、クッションを外してください

- 外さずに乗り降りすると、ベッドや車いすなどから転落してけがをするおそれがあります。

■詰め物を口に入れたり吸込んだりしないでください

- クッションが破損すると、詰め物が出てくるおそれがあります。万一、詰め物が出てきた場合、口に入れたり、吸込んだりしないでください。喘息を引き起こす原因となります。

■クッションが汚れた状態では使用しないでください

- 汚物や血液などの汚れが染み込み、感染症などを引き起こす場合があります。
- 汚れた場合は「日常のお手入れ」（6 ページ参照）に従ってお手入れしてください。

■ベッドからはみ出しに注意してください

- クッションがベッドやサイドレールからはみ出ていると、サイドレールやボトムにクッションがはさまれ、思わぬけがをしたり、クッションやサイドレールなどが破損したりするおそれがあります。

■火気に近づけないでください

- クッションの近くでストーブなどの熱器具を使用しないでください。変形・変質・発火などの原因となります。

■クッションの上で立ちあがったり、飛び跳ねたりしないでください

- 転落・転倒してけがをしたり、クッションが破損したりするおそれがあります。

■お客様による修理・改造はしないでください

- 思わぬけがや破損の原因となります。

■クッションを同時に2つ以上使用しないでください

- 体位変換ができなくなるなどして、けがをするおそれがあります。



けい こく
警 告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷（骨折・圧迫・麻痺^{まひ}など）を負う可能性が想定される内容を示しています。

■クッションは定期的に点検してください

- 使用の環境や頻度、お手入れの方法や頻度により、クッションは劣化します。定期的に破損などがないか確認してください。
- 清拭カバーに破損があると、失禁したり飲み物などをこぼしたりした場合、詰め物に水分が浸水しやすくなります。
- 詰め物や清拭カバーの劣化、印刷のはがれが気になる場合は、交換をお勧めします。
- 詰め物や清拭カバーが破損した場合は新しいものに交換してください。購入については販売店までお問い合わせください。



ちゅう い
注 意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷（打撲・すり傷・切り傷など）を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■クッションを使用する際は、以下の点に注意してください

- 医師・看護師・理学療法士などにご相談ください。
- 使用者の状態をよく観察し、支えかたを検討して、個々の使用者に適した体位変換を行ってください。
- クッションだけでは床ずれは予防できません。全身的な管理（栄養状態の管理、基礎疾患の管理など）が必要です。

■クッションを無理に引っ張らないでください

- クッションが破損するおそれがあります。クッションがサイドレールやベッド用グリップとベッドやマットレスのすき間などにはさまれて簡単に抜けないときなどは、クッションをゆっくりと外してください。

使用前の準備と確認



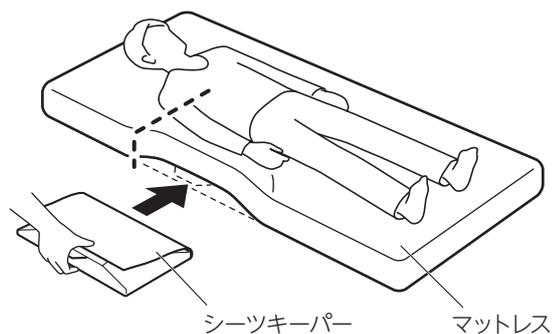
- 体位変換を行う際は、使用者の状態をよく観察し、個々の使用者に適した体位変換を行ってください。
- 品質表示ラベルが内側に折り込まれていることを確認してください。ラベルが飛び出している状態で使用すると皮膚を傷つけるおそれがあります。
- 詰め物に清拭カバーを掛け、ファスナーを完全に閉じてから使用してください。ファスナーが開いていると手や足などが引っ掛かり、けがをするおそれがあります。
- ファスナーがフラップで覆われていることを確認してください。ファスナーがむき出しの状態だと、皮膚を傷つけるおそれがあります。

- 体位変換を行った後は、使用者の表情を確認したり、可能な場合は使用者の意見を聞いたりするなどして、使用してください。また、姿勢が崩れていないか定期的に観察・確認し、姿勢が崩れた場合は適宜位置などを調整してください。

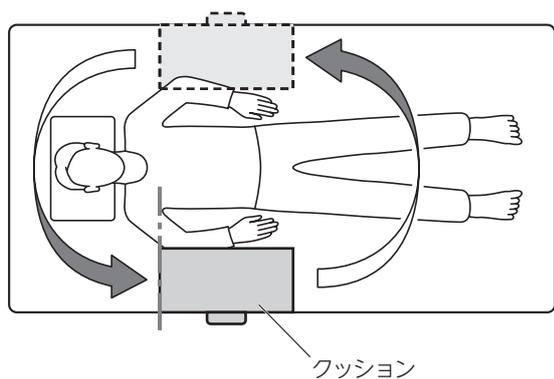


- クッションに熱や湿気がこもっている場合は、詰め物と清拭カバーを別々にし、陰干しをして十分に乾燥させてください。
- 清拭カバーの表地は、はっ水性の生地を使用していますが、圧力がかかった状態だと清拭カバーの内部に水分が染み込むおそれがあります。水分が染み込んだ場合は清拭カバーを外して洗濯し、よく乾燥させてから使用してください。
- 清拭カバーの裏地には防水性の生地を使用していますが、空気の入りを確保するため、ファスナー部分とその周辺は防水性がありません。失禁したり飲み物などをこぼしたりした場合に、清拭カバーの内部に水分が染み込むおそれがあります。水分が染み込んだ場合は、清拭カバーを外し、清拭カバーを洗濯し、よく乾燥させてから使用してください。
- 詰め物に清拭カバーを取付ける際は、1 ページの図を参照して向きを揃え、詰め物の四隅を清拭カバーの四隅まで確実に入れてください。また、ファスナーは完全に最後まで閉めてください。

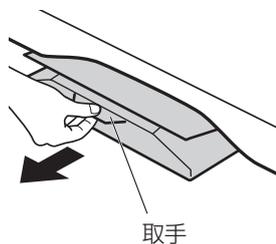
使用方法



【上から見た位置】



【取り出し方法】



電動ベッドで使用する場合は、背ボトムの角度が 30° 以下の状態で使用してください。

クッションのシーツキーパーの印刷面が見えるようにして折り返し、ベッドに寝ている方のわきの下の延長上になるように、ベッドとマットレスの間に差し込んでください。



同時に2ヶ所に使用できません。1ヶ所ずつ交互に使用してください。

取手をもって水平に引き、取り出してください。

日常のお手入れ

■クッションが汚れたり、使用される方が替わったりする際など、クッションのお手入れを行う場合は下記に記載の条件に従い、洗濯もしくは清拭消毒してください。



ちゅう
注 意

- 詰め物は清拭消毒・洗濯できません。詰め物が破損・変形するおそれがあります。
- 洗濯機は、メーカーおよび機種により洗濯条件が大幅に異なります。ドラム径など機器の構造や性能の違いなど、洗濯条件により清拭カバーが破損するおそれがあります。洗濯後、清拭カバーが破損している場合は、同一条件での洗濯はおやめください。
- オゾン殺菌器などは使用しないでください。クッションが破損・変質するおそれがあります。
- 清拭カバーは完全に乾燥させてから使用してください。完全に乾燥させていないとカビ発生の原因となります。特に清拭カバーの内側は水滴がたまりやすいため、内側も完全に乾燥させてからご使用ください。

 清拭カバーのみ家庭用洗濯機で洗濯可能です。清拭カバーを詰め物から取外し、洗濯してください。

1) 清拭消毒（清拭カバーのみ）

●消毒液は必ず下記の薬品を、指定の濃度を守って使用してください。また、各消毒液の取扱い方法に従って使用してください。

- | | | |
|-------------------------------|-------------|-------------|
| ・0.05～0.2%：塩化ベンザルコニウム（オスバンなど） | ・1.0% | ：次亜塩素酸ナトリウム |
| ・0.05～0.2%：塩化ベンゼトニウム（ハイアミンなど） | ・76.9～81.4% | ：消毒用エタノール |
| ・0.05%：グルコン酸クロルヘキシジン（ヒビテンなど） | ・70% | ：イソプロパノール |

 清拭消毒ではにおいを完全に除去できない場合があります。においが気になる場合は、「2) 洗濯機での洗濯」（下記参照）に従って洗濯してください。

2) 洗濯機での洗濯（清拭カバーのみ）

●下図の絵表示に従ってお手入れしてください。（清拭カバーの品質表示ラベルにも同様の記載がされています。）

●洗濯後、詰め物に清拭カバーを取付ける際は、1 ページの図を参照して向きを揃え、詰め物の四隅を清拭カバーの四隅まで確実にに入れてください。また、ファスナーは完全に最後まで閉めてください。

-  ・洗濯機で弱い洗濯処理ができます
・洗濯の液温は 40℃が限度です
・洗濯ネットの使用をおすすめします

-  ・塩素系及び酸素系漂白剤による漂白処理ができます ※1

-  ・アイロン仕上げ処理はできません

-  ・洗濯処理後のタンブル乾燥処理ができます
・排気温度は 80℃が限度です（高温乾燥）

-  ・ドライクリーニング処理はできません

-  ・濡れつり干し乾燥がよいです

-  ・通常操作のウェットクリーニング処理ができます

※ 1) 次亜塩素酸ナトリウムに浸漬する場合は、濃度 0.02%、時間は 30 分以内にしてください



ちゅう
注 意

清拭カバーは洗濯機での脱水をしないでください。洗濯機が故障したり、清拭カバーが破損・変形したりするおそれがあります。

長期保管について

■長期にわたり、クッションをご使用にならないときは、下記の点にご注意ください。

- クッション以外のものを重ねて載せないでください。
- 高温・多湿・ほこりの多い場所・直射日光を避けてください。
※詰め物や清拭カバーが変色する場合がありますが、製品の性能に問題はありません。
※におい(ウレタン臭など)が気になる場合は、風通しの良い日陰にクッションを1日程度放置しておくことで、においはかなり低減します。

仕様

品名		体位変換器 バナナフィットSF (スモールフロー) タイプ
品番		KE-P117S
寸法 (cm)	全長	50
	全幅	28
製品質量 (kg)		0.25
最大利用者体重 (kg)		180
耐熱温度	詰め物	60℃
	清拭カバー	80℃
使用環境 保管環境	温度	50℃以下
	湿度	90%RH 以下
材質	詰め物	ウレタンフォーム (難燃)
	清拭カバー	ポリエステル71%・ポリウレタン29% (難燃) 表地: はっ水加工 裏地: 防水加工

アフターサービスについてご不明な場合

お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

パラテクノコールセンター ☎ 0120-54-8639

受付時間: 平日 8:00 ~ 18:00 / 土・日・祝日 9:00 ~ 17:00 (年始は休業いたします)

【パラテクノ株式会社について】 弊社製品の修理や保守点検などの各種サービスを実施する会社です。

<パラマウントベッド 株式会社>

本社	〒136-8670	東京都江東区東砂 2丁目14番5号	☎(03)3648-1111 (大代)
東京支店	〒136-8670	東京都江東区東砂 2丁目14番5号	☎(03)3648-1171 (代)
札幌支店	〒060-0062	札幌市中央区南2条西13丁目318番地11	☎(011)271-1181 (代)
仙台支店	〒984-0015	仙台市若林区卸町2丁目3番地の3	☎(022)239-5211 (代)
さいたま支店	〒336-0967	さいたま市緑区美園3丁目23番1	☎(048)878-0100 (代)
横浜支店	〒194-0004	東京都町田市鶴間5丁目3番33号	☎(042)795-8800 (代)
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉1丁目20番17号	☎(052)963-0600 (代)
大阪支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀2丁目3番33号	☎(06)6443-8791 (代)
高松営業所	〒761-8031	高松市西郷東町2-2-3番1	☎(087)881-8900 (代)
広島支店	〒733-0011	広島市西区横川町3丁目8番5号	☎(082)293-1311 (代)
福岡支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号	☎(092)461-1131 (代)